



ジョホール日本人学校 Japanese School Johor

学校便り Respect



令和6年3月9日

最終号

ジョホール日本人学校 令和5年度 第27回卒業式 学校長式辞

校長 川口 浩

小学部6年、中学部3年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、新型コロナウイルス感染症拡大という厳しい環境を乗り越え勉学に励み、本日、晴れて小学校6年間、中学校3年間の課程を修了することが出来ました。その努力をここに讃えます。

本日は、在マレーシア日本国大使館、公使 狩俣 篤志（かりまた あつし）様、をはじめご来賓の皆様、保護者のみなさまのご臨席を賜り、本校第27回卒業式を、このように挙行できましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、このジョホール日本人学校で学んだ卒業生の皆さんが、これからより良い人生を歩むために、大切にしてほしいことを2つお話します。その2つとは、

1. 『人生の目標は、1つではなく2つ必要である。』
2. 『マレーシアで生活したことを、自分の強みとする。』



ということです。

『人生の目標は、1つではなく2つ必要である。』とは、どういうことかわかりますか。1つ目の目標は、“何になりたいという”という目標です。言い換えれば“将来、こんな職業に就きたい”ということです。人は、この目標に向け、勉強に励んだり、技術を磨いたり、様々な資格を取得したりします。つまり、この目標があるから人は、つらくても努力を継続できるわけです。この目標だけでも、よいような気がしますね。

先日、あるデータを調べていると、こんな資料がありました。それは、“子どもの時になりたかった職業に、実際つけた人は、何%でしょうか？”というものです。みなさん、どのくらいだと思いますか？その資料の回答は、「16.7%」でした。これは、約6人に1人しか、自分がなりたかった職業に就けていないということです。そこで、もう一つの人生の目標が必要となるのです。その目標とは何か？それは、“将来、こんな人間になりたい”という目標です。皆さんも今までの人生の中で、自分の思い通りいかなかった経験が何度かあったのではないのでしょうか？（例 委員会）そのような時、無気力になったり、うまく感情をコントロールできず、人や物にあたったりはしていないのでしょうか。もしも、思い通りの職業に就けなかった5/6の人たちが、そうなったら、自分自身をだめにするし、世の中は、大混乱してしまいます？そうならないために、“将来、こんな人間になりたい”という目標が大切になるのです。望む職業が千差万別なように、この二つ目の目標も様々あると思います。考えられるものとしては、“何があろうと、挫けず、前向きに生きる”とか“与えられた役割は、責任をもって果たす”とか、職業とは関係なく、人として自分がどう人生を歩んでいくのかという指針になるものです。どうか皆さんは、この2つ“何になるのか”と“どう生きるか”という目標をもって、人生を歩んでいってください。

次に、『マレーシアで生活したことを、自分の強みとする。』を考えるうえで、日本とマレーシアの違いを思い浮かべてください。何が、頭に浮かびましたか？おそらく多くの方は、マレーシアは日本と違い、多民族、多宗教で様々な文化が入り混じった、多文化社会であると答えるのではないのでしょうか？多文化であることには、良い面も悪い面もあると思います。最悪の場合は、異なった文化間で衝突が起り、それが内戦となって、街が破壊され、多くの尊い命が奪われるということも、実際に多くの国で

起こっています。そのようにならないよう、国をコントロールし、多文化共生の世界を築くことが大切です。この、多文化共生社会とは、単に民族同士がぶつからず、平和に暮らしているというだけではありません。多くの違った民族の人たちが共存する中で、相手の考えを認め合うという、寛容の心を培ったり、一つの物事を、様々な角度から見つめ、議論することにより、より普遍的な価値のある製品や発想を生み出せるという利点があると思います。これらのことは、ほぼ単一民族で構成される日本国内だけにとどまっていたら、なかなか身に付けることのできない価値ではないでしょうか？このことに関して皆さんは、マレーシアで生活する中で、多くの経験を通して、意識・無意識のうちに身に付けてきているのです。これは、皆さんにとって、とても大きな財産です。この経験を、日本でも世界のどの地にあっても、自分自身の強みとして生きていってください。

本日を境に、会うことが難しい人もでてきます。しかし、今は、様々な方法で、世界中の人たちと一瞬のうちにつながることができます。この、ジョホール日本人学校での出会いを生涯の宝とし、友情を保ち続けていってください。そうすれば皆さんは、世界に友情の輪を大きく広げることができるようになるのです。人にとって最大の財産は、お金や地位ではなく、豊かな人間関係であると思います。今日は、皆さんにとって、お別れの日ではありますが、未来に向けて新しい友情をはぐくんでゆく、新しいスタートの日でもあるのです。

保護者の皆様、お子様方のご卒業、まことにめでとうございます。長年にわたり、お子様方と共に人生を歩まれ、本日を迎えられることに、喜びもひとしおかと存じ上げます。

お子様方は、ジョホール日本人学校よりそれぞれが新しい道へと進んでまいります。一步自立への階段をのぼり始めた4名ではございますが、まだまだ、保護者の皆様のお力添えが必要な場面もございます。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

最後に、繰り返しになりますが、『幸せな人とは、より良い人間関係を築ける人。』ということをお忘れなくて、自分の人生を実り多いものにしていってください。皆さんのこれからの人生が、光り輝くものとなることを強く願い、学校長式辞といたします。

SDGs 節電プロジェクト	2023年2月使用電力	2024年2月使用電力	今月の節電量	累計節電量
2月の結果	11030kwh	11868kwh	-838kwh	-10169kwh

◎ 保護者の皆様へ

- 1 本年度は4年ぶりに、年度当初から予定通りに教育活動を実施することができました。これも一重に保護者の皆様のご理解、ご協力の賜物であると、教職員一同、心より感謝申し上げます。
- 2 令和6年度4月当初の予定は、以下の通りです。変更等がある場合は、後日、連絡を差し上げます。
 - 4月 9日(火) ・バス試乗会
 - 4月12日(金) ・着任式 ・始業式 ・入学式
 - 4月15日(月) ・授業開始
- 3 DNP Imagingcomm Asia Sdn.Bhd.様より写真専用のプリンターを寄贈していただきました。有効に活用させていただきます。

